

尿中馬尿酸：キョウニン水〔ベンズアルデヒド〕の摂取

環境・健康

キョウニン水に含まれるベンズアルデヒドは体内で代謝され安息香酸⇒馬尿酸となって尿中に排泄されます。鎮咳去痰剤として用いられている日本薬局方『キョウニン水』中にはキョウニン（杏仁：杏の種子）の成分であるアミグダリンが、共存する酵素によって分解され生成したシアン化水素とベンズアルデヒドを含有しています。

キョウニン水中のベンズアルデヒドの含有量は不明ですが、キョウニン水中のシアン化水素の含有量が 0.09～0.11 % に規定されていることから、このキョウニン水（ベンズアルデヒド）の摂取（1 ml/1 回程度）による尿中馬尿酸の検査値への影響は比較的小さいことが推察されます。

キョウニン水

組成	1 ml 中、日本薬局方キョウニン水 1 ml 含有
性状	ベンズアルデヒドようのにおい及び得意な味がある
効能・効果	急性気管支炎に伴う咳嗽及び喀痰喀出困難
用法・用量	キョウニン水として、通常成人 1 日 3 ml を 3~4 回に分割経口投与する。1 回 2 ml、1 日 6 ml をこえないものとする。
シアン化水素含有量	キョウニン水中 0.09～0.11 %（1 ml 中 0.9～1.1 mg）

kes サポート

課 題	kes サポート
尿中馬尿酸の検査値に影響する食品の摂取	情報の提供など
作業者のトルエンのばく露状況の調査	尿中トルエン、血中トルエンの検査
	個人ばく露モニタリング（トルエン）